

その日、その時、わたしと家族の「いのちの守り方」

# 大垣防災

OGAKI BOUSAI

## 大垣市洪水ハザードマップ

右側のマップで自宅の浸水深を確認しよう!

浸水深  
(浸水の深さ)

- 浸水なし
- 0.5m未満
- 0.5m~3.0m
- 3.0m~5.0m
- 5.0m以上

●詳しくは、裏面の色を見て確認してください。

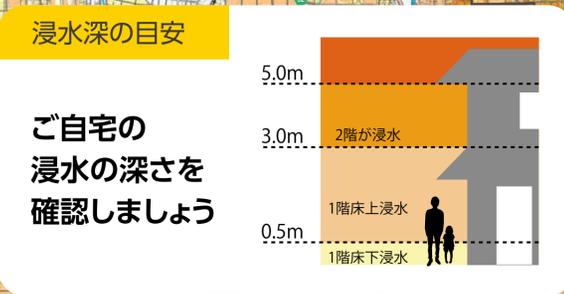
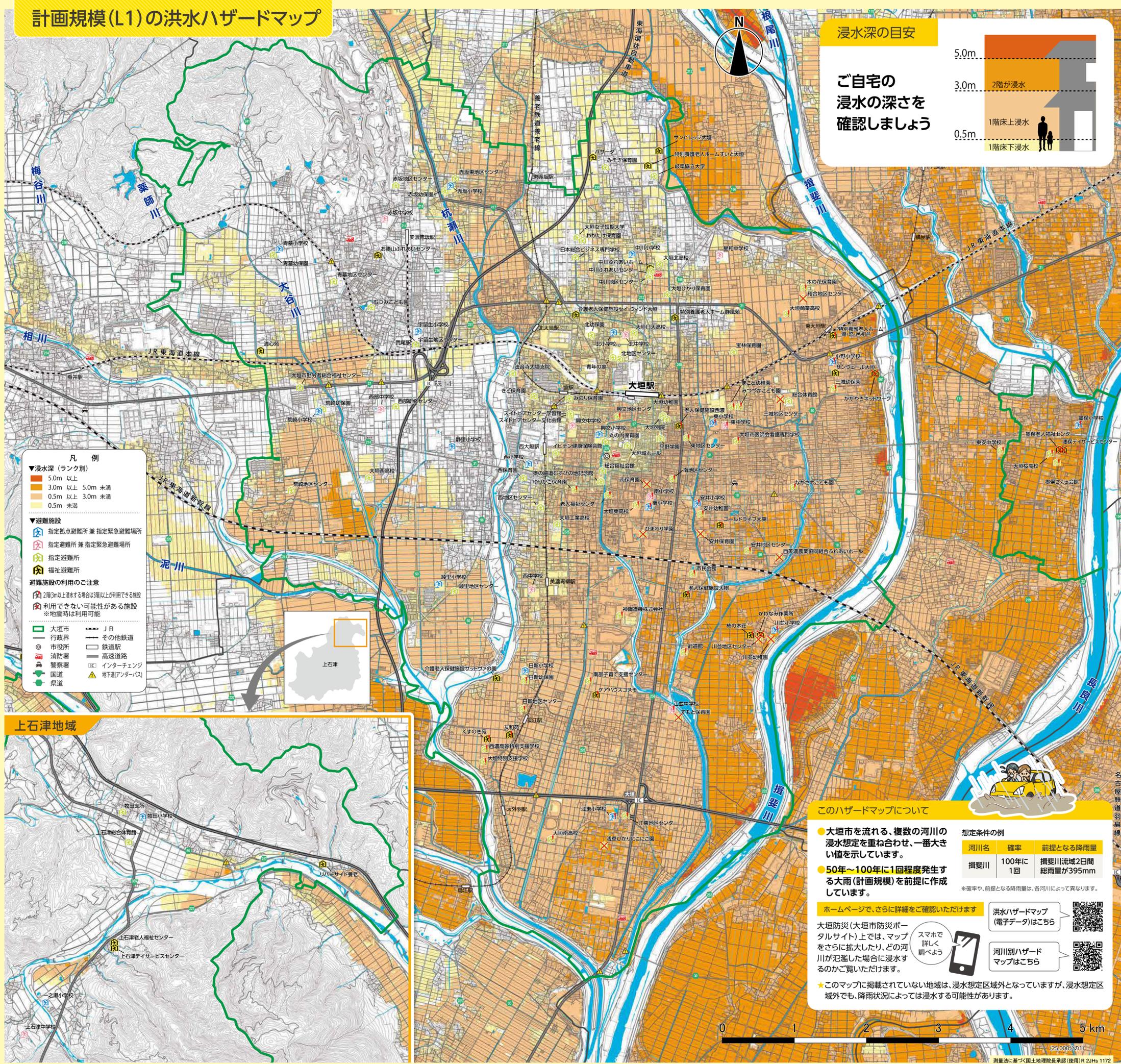
わが家の  
避難行動

- 自宅で垂直避難(安全な階に避難する)
- 緑故避難
- 指定緊急避難場所へ避難 避難先

●詳しくは、裏面の色を見て、避難行動をチェックしてください。

※指定緊急避難場所について/  
水害の恐れがある場合は、各地域の拠点となる小学校を優先して開放します。

## 計画規模(L1)の洪水ハザードマップ



### 凡例

▼浸水深(ランク別)

- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 0.5m以上 3.0m未満
- 0.5m未満

▼避難施設

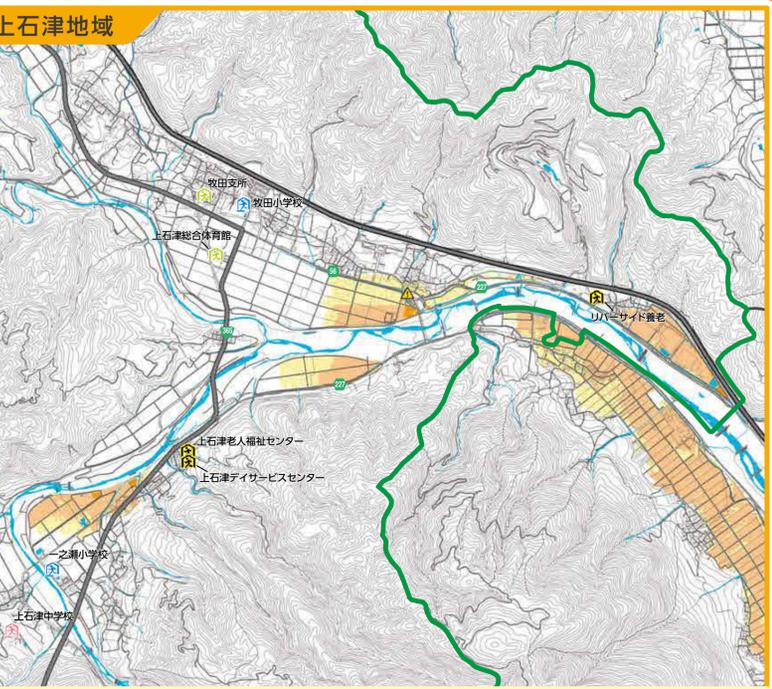
- 指定拠点避難所 兼 指定緊急避難場所
- 指定避難所 兼 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所

避難施設の利用の注意

- 2階3階以上浸水する場合は3階以上が利用できる施設
- 利用できない可能性がある施設 ※地震時は利用可能

大垣市 行政界 市役所 消防署 警察署 国道 県道

JR その他鉄道 鉄道駅 高速道路 インターチェンジ 地下道(アンダーパス)



## 非常用持出品・備蓄品

すぐに持ち出せるようにしておく「非常用持出品」と、避難生活に備える「備蓄品」を用意しましょう。

- ### 非常用持出品
- できれば、家族全員に1つずつリュックサックを用意します。すぐに持ち出せるよう、目につくところに備えておきましょう。
- | 通信・連絡機器関連       | 安全対策品          | 生活用品                                       |
|-----------------|----------------|--|
| 携帯充電器・モバイルバッテリー | 防災用ヘルメット・防災ずきん | ビニール袋・ポリ袋・ゴミ袋                              |
|                 | レインウェア         | 携帯ラジオ                                      |
|                 | 紐なしの靴          | マッチ・ろうそく                                   |
|                 | 懐中電灯・ランタン・予備電池 | 使い捨てカイロ                                    |
|                 | 軍手             | ブランケット                                     |
|                 | タオル            | 洗面用具・歯ブラシ・歯磨き粉                             |
|                 |                | スリッパなど室内履き                                 |
|                 |                | ティッシュ(またはポケットティッシュ)                        |
|                 |                | ペン・ノート                                     |
|                 |                | 貴重品(現金、現金、パスポート、保険証、診察券、運転免許証、マイナンバーカードなど) |
|                 |                | 救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)・処方箋              |
|                 |                | 大垣市洪水ハザードマップ                               |

- ### 感染症対策用品
- |     |                  |            |
|-----|------------------|------------|
| マスク | 手指消毒用アルコール・除菌シート | 石けん・ハンドソープ |
| 体温計 | ウエットティッシュ        | 紙コップ(うがい用) |

- ### 備蓄品
- 救援物資が届くまで自活できるように、食料や生活用品を備えておきます。断水や停電、都市ガスの停止などへの備えも必要です。
- | 食料や水   | 生活用品   |
|--|--|
| 3日分~1週間分×家族分<br>普段から食べているものを少し多めに買って置き、食べた分だけ買い足していく「ローリングストック」を習慣にすると、食料や水の備蓄が無理なくできます。 | ティッシュペーパー 簡易トイレ<br>ペーパータオル ポリタンク(給水用)<br>ゴミ袋<br>ラップ<br>トイレ用ペーパー<br>卓上ガスコンロ・ガスボンベ |
- 買い足す 備える 食べる・使う

ほかに、家族構成や状況に応じて必要なものを日ごろから備えておきましょう。

### このハザードマップについて

- 大垣市を流れる、複数の河川の浸水想定を重ね合わせ、一番大きい値を示しています。
- 50年~100年に1回程度発生する大雨(計画規模)を前提に作成しています。

想定条件の例

河川名	確率	前提となる降雨量
揖斐川	100年に1回	揖斐川流域2日間総雨量が395mm

※確率や、前提となる降雨量は、各河川によって異なります。

ホームページで、さらに詳細をご確認いただけます

大垣防災(大垣市防災ポータルサイト)上では、マップをさらに拡大したり、どの河川が氾濫した場合に浸水するのかが知りたいいただけます。

洪水ハザードマップ(電子データ)はこちら

河川別ハザードマップはこちら

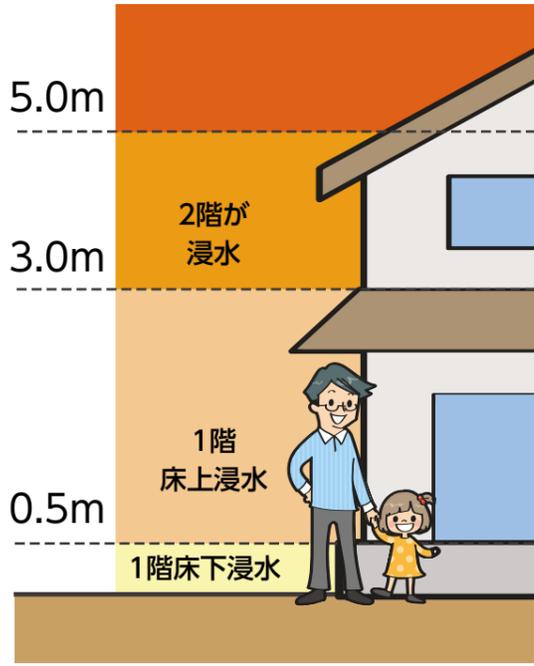
スマホで詳しく調べよう

★このマップに掲載されていない地域は、浸水想定区域外となっていますが、浸水想定区域外でも、降雨状況によっては浸水する可能性があります。

# 1 わが家の浸水リスクを確認しよう

ハザードマップで自宅周辺の浸水の深さを事前に確認しましょう。

## ！予想される浸水の深さ



## 表面の大きい地図で確認しよう

- 5.0m以上**  
建物の3階以上が浸水します。  
原則、立ち退き避難をします。高い建物でも、可能であれば事前に立ち退き避難をしましょう。
- 3.0m～5.0m**  
建物の2階が浸水します。  
3階建以上でない限り、立ち退き避難をしましょう。
- 0.5m～3.0m**  
建物の1階が浸水します。  
自宅の2階以上に避難できる場合は、垂直避難を検討しましょう。
- 0.5m以下**  
建物の床下が浸水します。  
50cmの浸水でも歩行による移動は危険です。2階以上に避難できる場合は、垂直避難を検討しましょう。

## 2種類の洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップは、降る雨の想定によって、2種類用意しています。

### ●計画規模(L1)

※表面に掲載しています。

**50年～100年に1度程度**発生が予想される規模の降雨です。

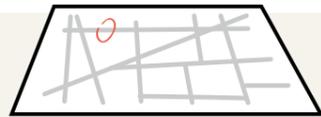
(例: 揖斐川流域2日間総雨量395mm)

### ●想定最大規模(L2)

※この面の右下に掲載しています。

**1,000年に1度程度の確率**で発生が予想される規模の降雨です。

(例: 揖斐川流域2日間総雨量667mm)



## Pick up! マップ上の凡例を知る。

### 避難施設を表すマークの意味

#### 指定避難所

被害を受けた人が、避難生活を送るための施設です。公共施設を中心に、支援に適した施設をあらかじめ指定しています。避難所は地域住民の協力で運営していただきます。

#### 指定避難所 兼 指定緊急避難場所

指定避難所のうち、発災時や災害が迫っているときに、緊急的に難を逃れるための施設です。収容人数に応じて順次開設します。

#### 指定拠点避難所 兼 指定緊急避難場所

指定避難所兼指定緊急避難場所のうち、**地域の支援拠点として、小学校を指定しています。風水害時は、原則、小学校から開設します。**

#### 福祉避難所

避難所生活で、特別な配慮を要する方が避難する施設です。避難者以外に普段から利用されている方がいるため、大垣市が受け入れ可能かどうか確認した上で開設します。

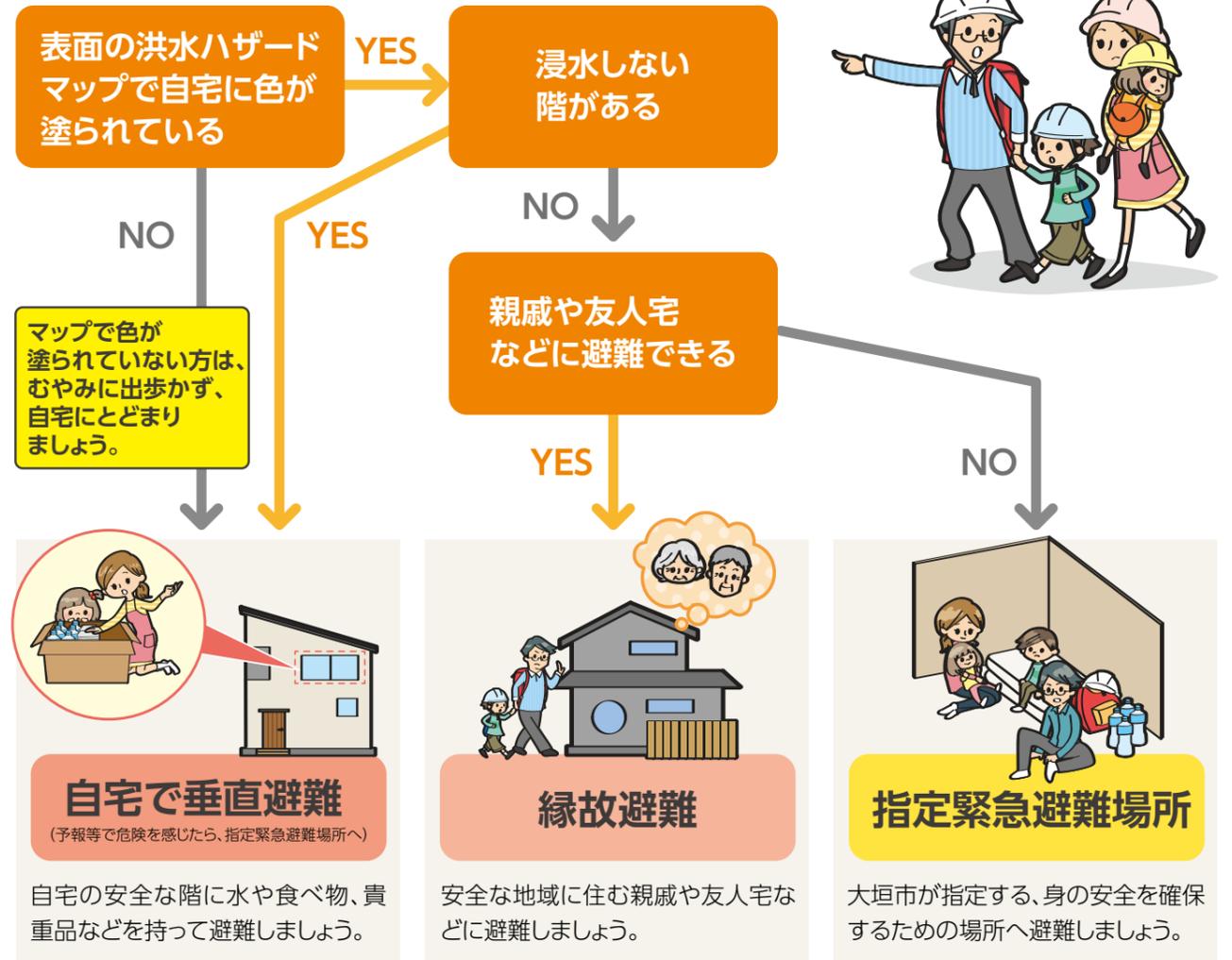
※避難施設等については、表面の地図上に名称等を記載

# 2 わが家の避難行動を考えよう

浸水の深さに応じた行動や、避難先を確認しましょう。

## ！風水害時の避難行動

避難とは、災害からいのちを守るためのすべての行動です。避難場所に行くことだけが避難ではありません。



## Pick up! 指定緊急避難場所とは

東日本大震災では、避難所に津波が押し寄せ、多くのいのちが失われました。この教訓から、いのちを守るための「緊急避難場所」と、避難生活をするための「避難所」は分けて考えられるようになりました。大垣市は、津波の影響が想定されないため、**指定避難所の中から小学校・中学校を中心に、安全な場所(建物・グラウンド)を「緊急避難場所」として**も指定しました。

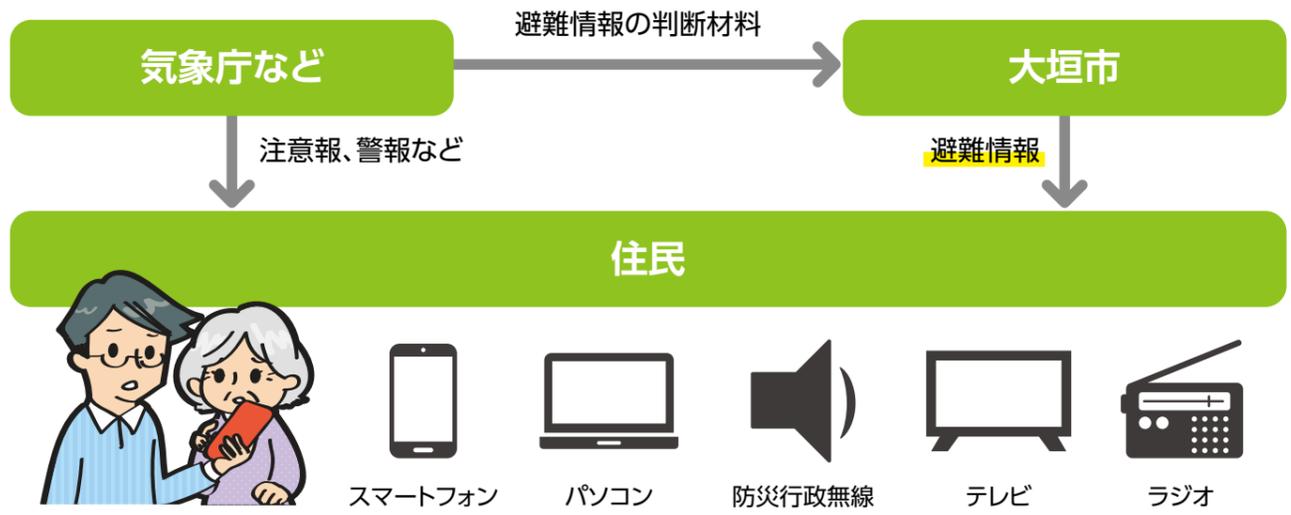


# 3

## 避難情報をもとに避難開始を判断しよう

正しいタイミングで避難できるよう、日ごろから避難情報の入手方法を確認しましょう。

### ！情報伝達の流れ



！詳しい避難情報などは、「5 災害から身を守ろう」、「6 避難情報と気象情報について知ろう」へ

### ！大垣市からの避難情報の入手方法

避難情報は、いのちを守るために大切な情報です。大垣市では、さまざまな方法で発信しています。

スマートフォンを使った情報収集

**大垣防災**  
OGAKI BOUSAI

大垣市防災ポータルサイト

大垣市に関する河川の水位情報や、今後の雨の予報などの防災情報を整理し、リンク先をまとめたサイトです。大垣市からの避難情報も発信します。

●大垣市メール配信サービス(緊急災害情報)  
あらかじめ登録しておくことで、避難情報を通知でお知らせします。  
t-ogaki@sg-m.jp

●大垣市のSNS  
見た情報をシェアしたり、リツイートすることで、共有・拡散できます。ぜひフォローしてください。

Twitter: @bosai\_ogaki  
Facebook: @bosai.ogaki

大垣市役所公式 LINE

LINEアプリを起動して友だちに追加!

災害情報をリアルタイムでお知らせします!

メニュー画面から、防災情報を確認することができます。

緊急情報(避難情報など)  
洪水ハザードマップ  
避難所の情報

その他の情報収集

●防災行政無線  
大垣市内の屋外スピーカーから、避難情報をお知らせします。放送後24時間以内は、テレホンサービスで放送内容を確認できます。

0180-99-5252  
(通話料は利用者負担となります)

●テレビ/ラジオ  
大垣ケーブルテレビ(12ch)ではL字放送で、NHK(3ch)はリモコンの「d」ボタンを押すとデータ放送で、避難情報や避難所の開設情報などを確認できます。また、手回し充電式ラジオがあると災害時も安心です。

# 4

## 避難行動を開始しよう

いのちを守るため、避難するときに注意すべきことを確認しましょう。

### ！大雨・洪水時の避難のポイント

① 動きやすい服装で  
傘よりも雨ガッパを使用しましょう。また、長靴は水が入ると歩きづらくなるため避けましょう。

② 浸水がひざ上で危険  
氾濫水は勢いが強く、濁っているため、50cmでも歩くことが危険です。

③ 車での避難は危険  
浸水が30cmを超えると、多くの車はエンジンが停止します。

④ 家族と一緒に行動する  
避難するときは、家族でまとまって行動しましょう。  
**高齢者など、支援が必要な人がいるご家庭は、全員が避難のタイミングを早めましょう。**

⑤ 逃げ遅れてしまったら、「垂直避難」  
浸水がはじまり、屋外への避難に危険を感じる場合は、自宅の一番高い階に避難しましょう。

**逃げ遅れを防ごう!**  
大垣市から避難情報が発令されても、まだ外にそれほど雨が降っていないこともあります。早めに情報が発令されているためです。情報を確認したら、必ず避難行動を開始しましょう。

！避難のタイミングは、「6 避難情報と気象情報について知ろう」へ

### Pick up! 避難先などを家族に伝えよう

災害伝言ダイヤル  
伝言の録音・再生は、一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS(一部通信事業者を除く)から行えます。

伝言を残すには?  
171 → 1 → 自宅や自分の電話番号 → 伝言を残す

伝言を聞くには?  
171 → 2 → 連絡を取りたい人の電話番号 → 伝言を聞く

防災MEMO

防災訓練に参加しよう

防災訓練などに参加して、日ごろから災害時のシミュレーションをしておきましょう。

# 5 災害から身を守ろう

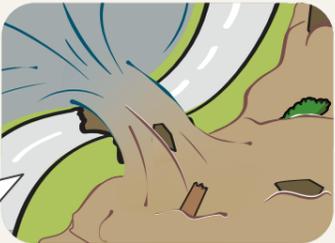
風水害や気象情報の正しい知識を身につけましょう。

## ！ 想定される災害 大雨の長期化や局地的な豪雨により、洪水や氾濫が想定されます。

### 外水氾濫

河川の堤防から水があふれたり、堤防が決壊して家や田畑が浸水することです。

**注意する気象情報/洪水**



上流で降る大雨にも注意が必要!

### 内水氾濫

降った雨を河川や雨水管に排水できず引き起こされる氾濫のことです。

**注意する気象情報/大雨(浸水害)**



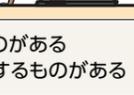
近年、大雨や短時間強雨(1時間降水量50mm以上)が増加傾向にあり、大垣市でも、平成16年の台風23号(最大1時間降水量54mm)により内水氾濫が発生しました。

### 大垣市の過去10年間の主な風水害

時期	主な災害	気象現象
平成24年9月	大雨(土砂災害)	1時間あたり最大総雨量70.0mm(降り始めからの総雨量 493mm)
平成29年10月	台風21号(浸水害)	1時間あたり最大総雨量41.0mm(降り始めからの総雨量 274mm)
平成30年9月	台風21号(停電被害)	1時間あたり最大総雨量19.5mm 最大瞬間風速34.8m/秒、停電戸数 約15,700戸

## ！ 気象情報で使われる用語と意味 風や雨の強さを表すことばは、次の基準で使い分けられています。

### 風の強さと吹き方 単位は平均風速 m/秒

やや強い風	10以上～15未満	●風に向かって歩きにくい ●傘がさせない	
強い風	15以上～20未満	●風に向かって歩けない ●看板が外れはじめる	
非常に強い風	20以上～25未満	●何かにつかまっていないと立っていられない	
	25以上～30未満	●通常で運転するのが困難になる	
猛烈な風	30以上～35未満	●屋外での行動は極めて危険 ●多くの樹木が倒れる	
	35以上～40未満	●ブロック塀で倒壊するものがある	
	40以上	●住家で倒壊するものがある ●鉄骨構造物で変形するものがある	

### 雨の強さと降り方 単位は mm/時間

やや強い雨	10以上～20未満	●ザーザーと降る ●話し声が良く聞き取れない	
強い雨	20以上～30未満	●どしゃぶりの雨 ●傘をさしていてもぬれる	
激しい雨	30以上～50未満	●パケツをひっくり返したように降る ●道路が川のようになる	
非常に激しい雨	50以上～80未満	●滝のように降る ●傘が役に立たない	
猛烈な雨	80以上	●息苦しくなるような圧迫感がある	

※ 気象庁「風の強さと吹き方」「雨の強さと降り方」参考

### 防災MEMO

#### 土砂災害ハザードマップ

一部地域では、洪水とともに土砂災害にも警戒が必要です。山間部にお住まいの方や、近くがけがある方などは、土砂災害への備えもあわせて確認しておきましょう。

土砂災害ハザードマップはこちらから

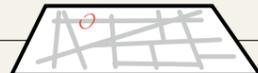


# 6 避難情報と気象情報について知ろう

大垣市からの避難情報を確認しながら、早めの避難を心がけましょう。

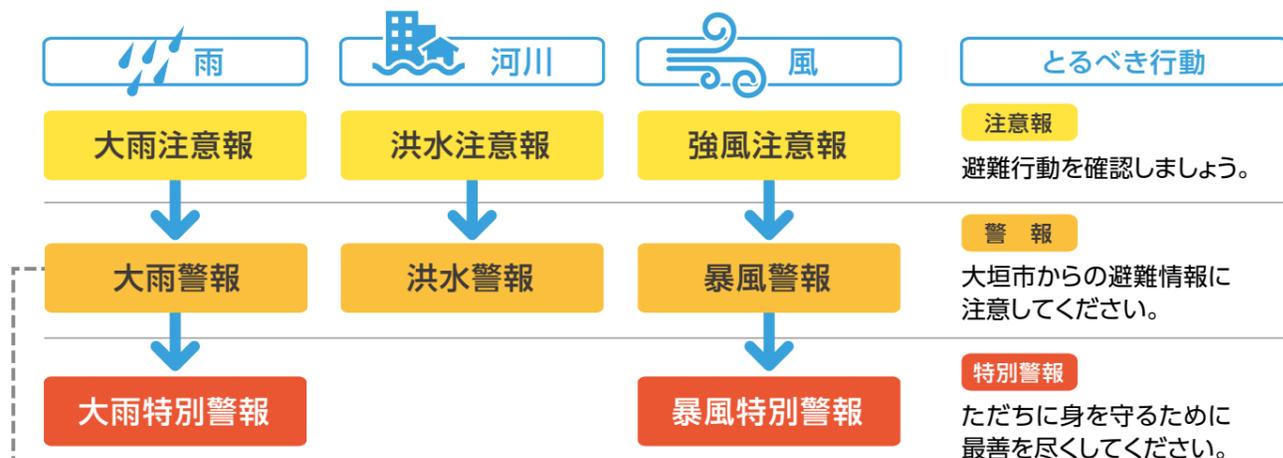
## ！ 避難情報と避難行動

大垣市からの避難情報は段階的に発令します。自分が避難行動を開始するタイミングを確認しておきましょう。また、避難情報の名称は令和3年5月から変更される予定です。

警戒レベル	避難情報		住民がとるべき行動	逃げ時POINT!
	令和3年5月ごろまで	令和3年5月ごろから		
5	災害発生情報(大垣市が発令)	緊急安全確保(大垣市が発令)	命の危険 直ちに安全確保	命を守る行動を!
4	避難指示(緊急) 避難勧告(大垣市が発令)	避難指示(大垣市が発令)	危険な場所から「全員」避難	全員が避難する!
3	避難準備・高齢者等避難開始(大垣市が発令)	高齢者等避難(大垣市が発令)	危険な場所から「高齢者等」は避難 ※それ以外の人は、普段の行動を見合わせはじめたり、必要に応じて自主的に避難する。	高齢者等は避難を開始!
2	洪水注意報・大雨注意報等(気象庁が発表)	洪水注意報・大雨注意報等(気象庁が発表)	避難に備え、ハザードマップなどにより避難行動を確認。	
1	早期注意情報(気象庁が発表)	早期注意情報(気象庁が発表)	災害への心構えを高める。	

警戒レベル3の発令にあわせ、大垣市は避難施設を開設します。

## ！ 雨と風の注意報・警報 注意報や警報は、災害の危険が迫っていることをお知らせする情報です。注意報、警報、特別警報の順に危険度が大きくなります。



大雨警報には、「土砂災害」「浸水害」「土砂災害、浸水害」の3つがあり、市町村ごとに発表されます。

- 大雨警報(土砂災害)** ..... 土砂災害への警戒を呼びかける。
- 大雨警報(浸水害)** ..... 浸水害への警戒を呼びかける。
- 大雨警報(土砂災害、浸水害)** ..... 土砂災害と浸水害への警戒を呼びかける。

※大雨特別警報も同様に発表されます

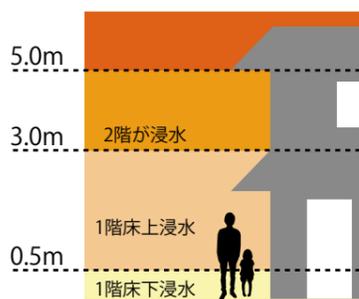
ここに注目!



# 想定最大規模(L2)の洪水ハザードマップ

## 浸水深の目安

ご自宅の  
浸水の深さを  
確認しましょう



## このハザードマップについて

- 河川ごとの浸水想定を重ねて合わせて、一番大きい値を示しています。
- 1,000年に1回程度発生する大雨(想定最大規模)を前提に作成しています。

- ★ このマップに掲載されていない地域は、浸水想定区域外となっていますが、浸水想定区域外でも、降雨状況によっては浸水する可能性があります。
- ★ このマップは、想定できる最大規模(L2)の降雨に基づいて作成したもので、裏面に掲載しているマップは、緊急避難場所の指定や、河川整備において基本となる計画規模(L1)の降雨に基づいて作成したものです。

## 想定条件の例

河川名	確率	前提となる降雨量
揖斐川	1,000年に1回	揖斐川流域2日間総降雨量が667mm

※確率や、前提となる降雨量は、各河川によって異なります。



## 凡例

### ▼浸水深 (ランク別)

- 5.0m 以上
- 3.0m 以上 5.0m 未満
- 0.5m 以上 3.0m 未満
- 0.5m 未満

### ▼避難施設

- 指定拠点避難所 兼 指定緊急避難場所
- 指定避難所 兼 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所

### 避難施設の利用のご注意

- 2階(3m以上)浸水する場合は3階以上が利用できる施設
- 利用できない可能性がある施設 ※地震時は利用可能

- 大垣市
- 行政界
- 市役所
- 国道
- 県道
- インターチェンジ
- サービスエリア
- JR
- その他鉄道
- 鉄道駅
- 高速道路
- 地下道(アンダーパス)
- スマートインターチェンジ
- ジャンクション
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

## 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)とは

近くの堤防が決壊するなどした場合、建物が倒壊したりする危険性の高い地域のことです。

0 1 2 3 4 5 km